



ライフプランナー
相続診断士
土屋 敬 (つちや たかし)

山形生まれ。退職金の活用や老後資金の準備、マイホームの購入・改築時の資金計画、相続対策等、年間200世帯以上のライフプランニングを行なっている。好きなものは「ビール」と「美味しい食べ物」。ファイナンシャルプランナー、トータル・ライフ・コンサルタント、住宅ローンアドバイザー等。2016 MDRT 成績資格会員(11~)。



数字で見るセカンドライフ

今月は

79.0%

退職後は、テレビが主な情報源!? 情報弱者にならないためには、取捨選択が大切です。

突然ですが、みなさんのお宅にこたつはありますか？

先日会社の女性スタッフと話をしていたところ、「うちは床暖房なのでこたつがありません」と言われ、ビックリしました。最近はこたつを置かないご家庭が増えていそうですね。「こたつでミカン」は、もはや過去の光景となりつつあるのかもしれない。ちなみに我が家は10月中旬に早くも出しました。こたつの上で小学生の息子と将棋を打つのが最近の楽しみとなっております。

さて今月は、情報に関する数字を取り上げました。情報化社会と言われる現在。

シニアはどのように情報収集をしているのでしょうか？

内閣府が全国の60歳以上の男女を対象に実施した調査(※)によると、情報源の第1位は、やはりテレビ。79.0%と最も高く、次いで新聞(タウン誌を含む/63.8%)、家族(38.2%)、友人・近所の人(28.9%)となりました。

前回の調査(平成21年度)と比べると、チラシやダイレクトメール、インターネットなどの数値が上昇しています。また、男女別では新聞やラジオ、インターネットなど、本人自身で完結できるものは男性が、家族や友人など第三者の介在が必要なもの

は女性の方が高くなる傾向にあるようです。

いつでもどこでも情報を集められる時代。便利な一方で、必要のない情報にまで振り回されてしまうことが少なくありません。情報弱者にならないためには、信頼できる情報源を見つけること、情報を得る窓口を広くすることが必要不可欠。そして、すぐに相談できる各分野の専門家を見つけることです。医師や弁護士、税理士、そして家計の専門家である私たちライフプランナーなど…。最新の情報は、いつも人が運んでくれます。人との縁が安心に繋がる。そのことを忘れずにいてほしいですね。

※内閣府「平成26年度 高齢者の日常生活に関する意識調査」

■お問い合わせ先

ソニー生命保険株式会社

仙台ライフプランナーセンター第2支社 第3営業所
ライフプランナー 相続診断士 **土屋 敬** (つちや たかし)
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル15F
募集文書登録 SL16-3630-0117

☎022-296-5472 (平日9:00~17:30)

takashi_tsuchiya@sonylife.co.jp 携帯電話 090-9538-2463

*ご記入いただきましたお名前・ご生年月日・ご連絡先につきましては、セミナーご出席の確認ならびにソニー生命およびグループ各社の各種商品の情報提供、サービス等のご案内にのみ利用させていただきます。

土屋敬

検索

<http://www.doyakei.com>

無料

りらく読者限定

ライフプラン
個別相談実施中

生命保険の相談だけでなく、将来の生活設計や老後資金準備、退職金の活用、住宅ローン、相続・贈与、資産運用などについてもお気軽にご相談ください。

■申込方法(完全予約制) / 電話・Eメールにて(左記参照)。名前・連絡先・希望日時・主な相談内容をご連絡ください。